

No.11 多発している階段、棧橋 - 墜落・転落の死亡災害事例（2018年）

2018年発生月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	起因物 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者 規 模
12	12 ～ 13	マンションの清掃業務終了後、共用棟内のロッカー室において、地下へ通じる階段下に被災者が倒れているのを同僚が発見した。	150101	413	1	500 ～ 999
11	10 ～ 11	清掃や給仕の補助作業を行っていた被災者が、建物内階段の踊り場に倒れているところを発見されたもの。	140201	413	1	10 ～ 29
10	6 ～ 7	店舗敷地内の2階階段部で倒れている被災者が発見された。その後、救急車で病院に搬送されるも同日死亡したもの。	150101	413	1	300 ～ 499
10	10 ～ 11	被災者が、屋上から4階出入り口に設置されている外部階段を使用し、屋上から荷物の運び出し作業を行っていたところ、当該階段の4階出入り口踊り場から2段目及び3段目の踏板が抜け、地上まで約9m墜落し、死亡したもの。	30201	413	1	50 ～ 99
8	14 ～ 15	階段下で被災者が下記状況で倒れているのが発見されたもの。・ヘルメットが外れ、飛んでいた。・汗をたくさんかいていた。・左頭部うしろに擦り傷があった。声をかけると自分で立ち上がり、制御盤の前まで歩き座ったが、意識が朦朧としていた為、救急車で病院に搬送。脳挫傷により死亡。	11209	413	1	1～ 9
10		4階建て商業ビル屋上に設置された広告看板改修のため、看板製造等を行う会社に所属する被災者は、看板下地の鉄骨製作他を行う会				

7	7 ~ 11	社の2名と共に、ビル屋上で採寸他の現場事前調査を行っていた。 屋上での作業を終えて、屋上へ上がる際にも使用したビル壁面に設置された垂直タラップを降りていた被災者は、ビル横の河川へ墜落し、心臓破裂により死亡した。	30209	413	1	1~ 9
7	12 ~ 13	事業場内において、昼休憩後、叫び声がしたので確認したところ、1階と2階を繋ぐ屋内階段の地上部分で倒れている被災者を発見、救急搬送されるも「外傷性くも膜下出血」により、搬送先で死亡したもの。なお、発生時の目撃者はいない。	11209	413	1	10 ~ 29
7	14 ~ 15	介護施設内において、生活相談員を呼びに行くため、2階から1階まで階段を使用して降りていたところ、1階の階段の下から6段目付近（高さ約1.08メートル）の踏面からバランスを崩して墜落したもの。	130201	413	1	30 ~ 49
7	8 ~ 9	ホテル内の階段の掃除作業中、2階階段から1階まで墜落し死亡した。	140101	413	1	10 ~ 29
6	12 ~ 13	同僚が通路を歩いているとドサッという音がしたので振り返ってみると、階段下で倒れている被災者を発見したので、病院へ救急搬送・治療するも、急性硬膜外血腫・頭部脳挫傷により死亡した。被災者は昼休みに会社内の食堂で昼食をとった後、職場へ戻るために階段を降りていて、誤って転落したものと思われる。	10702	413	1	100 ~ 299
5	14 ~ 15	被災者は出張先である被災地において、舞台装置の点検のためにはしご道を移動している所、およそ13メートル下の床面に墜落し、死亡したもの。	170209	413	1	10 ~ 29
5	10 ~ 11	被災者が清掃作業場所であるマンションの外階段をハンドバキュームを持って2階から1階へ移動中に1階まで転落した。	150101	413	1	100 ~ 299
5	16 ~	2階建ての飲食店で、地下の倉庫に行く階段から転落した音がしたため、確認したところ階段下に倒れているところを発見した。病院	140201	413	1	1~

	17	へ搬送したところ後日死亡した。				9
5	14 ～ 15	屋内階段（3階と4階の間）を通行していたところ、転落し、踊り場に頭部を打ち付け、後日死亡したもの。	80209	413	1	300 ～ 499
5	10 ～ 11	被災者がビルの5階から4階にかけて階段をモップ掛けにより清掃していたところ、10段下（高さ約1.7m）の踊り場へ転落した。被災者は意識不明により、救急搬送されたが、後日死亡した。	150101	413	1	100 ～ 299
2	16 ～ 17	被災者は、作業現場の施工状況を確認するため、地上より約4メートル下にある地下作業場に梯子を使用して降りていたところ、墜落して死亡した。なお、梯子には、安全ブロックを取り付けていたが、使用していなかった。	30201	413	1	100 ～ 299
2	14 ～ 15	被災者は集合住宅の清掃員であり、共有部分の清掃を担当していた。終業時刻を過ぎても事務所に戻ってこないことから同事業場所属の管理人が捜したところ、地下1階に降りる階段の途中で倒れている被災者を発見したもの。地下1階に降りる階段上を清掃道具置場として利用していた。	150101	413	1	100 ～ 299
1	8 ～ 9	建物の1階床で倒れているのを後から出勤してきたものが発見したもの。司法解剖の結果、外傷性くも膜下出血、後頭骨骨折が死亡原因であった。目撃者はいない。建物の2階部分に事務所があり、扉の開錠が行われていたので、被災者は出勤後、2階に上がったあと階段を転落したものと推定される。	80209	413	1	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_07.html